

高校生の生活実態と性にもなう健康問題に関する研究

服部律子 出井美智子 堀内寛子 清水智美 兼子真理子 (大学) 富田悦子 (県立大垣工業高校)
高橋悦子 (県立池田高校)

はじめに

近年、思春期の性行動の早熟化が問題となっているが、特にここ数年で若年者の人工妊娠中絶率や性感染症の罹患率はかつてなく増加の割合が高い。岐阜県でも20歳未満の母親の出産数は平成9年には175であったが、平成11年では258、平成13年では286となり増加傾向を続けている。また20歳未満の人工妊娠中絶率であるが、岐阜県は全国平均より少ないものの、年々増加しており、平成4年には女子総人口千に対し、5.5(全国平均6.8)平成9年には6.3(7.9)、平成11年には10.7(10.6)、平成13年には11.4(13.0)であった。このように思春期の性に関わる健康上の問題は深刻さを増しており、この状況の改善については何よりも、教育を第一とした予防活動が重要である。

本学と西濃地区の養護教諭を中心とした研究メンバーでは、昨年から高校生の健康上の問題について課題と改善策を検討しているが、今年度はこのような背景より、特に性の問題と性教育に焦点を絞り、高校生に対する性教育の実践活動を模索している。高校生に対する性教育の方法として「ピアカウンセリング」「ピアエデュケーション」という手法が注目されている。思春期の子どもたちの性に関する相談相手は多くの場合友人が一番多く、同世代の仲間による教育は、効果的な手法であると考えられ、海外においてもその効果が実証されてきている。われわれは、本年度より「ピアカウンセリング/エデュケーション」の準備と取り組みを始めた。ピアは本学の大学生がボランティアで参加し、勉強を始めているが、ピアの養成に関する報告と課題は、後日報告する予定である。今回は、試験的に実践した「ピアカウンセリング/エデュケーション」の評価を行う。なお今回のピア活動は、カウンセリングを主体とするものではなく、教育の立場に重点を置いたものである。あえてピアカウンセリングとしていない。

大学生のピアは、看護大学1、2年生のボランティアによる活動が主体である。今年度の始めに、昨年授業で紹介した「ピアカウンセリングによる性教育」について、自分たちで実践してみたい学生を募った。学生は自主的にサークルとして組織し、大学に申請し認められた。サークル会員は2

2名であった。サークルの顧問には教員があたり、学生の活動をサポートした。

具体的な活動内容は、セクシュアリティの学習、妊娠と避妊に関する実際的知識(妊娠の成立、避妊の種類、実際の方法など)、性感染症の学習、カウンセリングスキル(アクティブリスニング、積極的傾聴)、エンカウンススキル(仲間作り、自己開示など)などであった。また学生のうち9名は自主的に、東京で行われた、日本家族計画協会主催のピアカウンセラー養成講座に参加した。

研究対象と方法

研究の対象は本学学生が実践しているピアエデュケーションの活動とその評価であり、今年度は実践初年度であった。ピアエデュケーションの実践は2校3回行われ、実践校は県立池田高校と県立大垣工業高校であった。

①池田高校での実践

平成15年12月18、19日、場所は池田高校保健室、所要時間は2時間程度であった。この取り組みは、高校側では、「人権週間」の行事の一環として計画され、養護教諭が計画した、HIVに関する学習、講演会(人権と性について考えよう)に続き行事の最終日に「本音で語ろう性と生」というテーマで、ポスターや養護教諭の直接の勧誘によって参加者を募り、生徒の自由参加により行われた。

結果とまとめ

参加人数は第1回高校生8名、学生4名、第2回高校生7名、学生4名であった。参加後の質問用紙による会の評価と自由記載の内容をまとめた。

*ピアエデュケーションの必要性和評価
生徒15名

- ① このような会についてどう思いますか?
必要 15 意味がない 0
- ② この回参加してみてあなたにとって
よかった 15 むだだった0 何も感じない 0
- ③ 学生と一緒に考えること(ピアカウンセリング)
という方法について
意義がある 15 必要ない 0
- ④ テーマ「性と生について」ということについて
よかった 15 いやだった 0

学生も8名全員が、ピアカウンセリング/エデュ

ケーションの必要性和意義を認め参加してよかった、と答えている。また自由記載の内容を分析した結果、1) 性についての詳しい知識が学べた 2) 実際の用具の使い方を体験して学べ、よく分かった 3) 年齢の近い人たちと楽しく学べたという3点があげられた。ピアは学生の活動として主体的に実践されているものであるが、学生の反応は 1) 高校生と話ができて楽しかった 2) もっと高校生とじっくりいろんなことを話したい という内容があり、学生は知識を伝えるだけでなく、カウンセラー的な立場にたち高校生の生の問題について自己決定ができるようなかわりをしたいと考えている。

②県立大垣工業高校での実践

平成16年2月10日 午後1~3時 場所 大垣工業高校 テーマ「卒業予定者のピアカウンセリング」(自分のからだや大人としての性行動など何でも気楽に話し合います) 募集は、養護教諭が各担任に依頼、または直接生徒に声をかけた。高校生は自由参加。

参加者の感想(自由記載)

- ・ いろんなことが話せて良かった
- ・ 女の人たちがやさしくて親切だった
- ・ 人生の先輩としていろんな話が聞けた
- ・ とても参考になった
- ・ いっぱい質問とかれて、いろいろ答えてもらってよかった
- ・ しゃべってとても楽しかった、今までよくわからなかったことが今日知ることができてすごく嬉しかったです
- ・ 他にも相談とかできて、本当によかったです
- ・ 特に男性の話は本当にためになったし、女性の方の考え方もわかりやすかった

考察

今回の「ピアカウンセリング/エデュケーション」の試みは、高校生と実施した大学生にも満足度が高く、評価は高かった。内容をみると、「詳しい知識が学べた」という感想が多く、学生たちが具体的に生徒の知りたいことにあわせて、話を進めていったことがよかったのではないかと考えられる。学生は、ピアカウンセリングの方法について、研修を受けた学生を中心に、書籍やビデオなどで学び、セクシュアリティと避妊について自己学習をはじめていた。高校生に性の知識を伝えるためには、正しい知識を自分たちが持つ必要性を認識し、「ピアカウンセリング/エデュケーション」のシナリオを考えながら、学びを続けて

いった。「自分が高校生だったら、何が知りたいのか、どんなことを知っているよかったか」ということを焦点に、つい最近まで高校生だった彼らが、積極的に学んでいった。このような姿勢が高校生に伝わったのであろう。「あいまいだったことがしっかり理解できた」「すごく詳しい話が聞けてよかった」「学生さんたちは恥ずかしい言葉とかをはっきり言えてすごいな、と思いました」など知識をさらに確実なものとし、知らなかったことも知ることができたことに満足していた。また「性について深く考えることができた」とさらに積極的な意見もみられた。知識のみならず、性とは何かなど自分自身の問題として、考える機会になったことは、評価できることである。

次に「実際の用具の使い方を体験して学べよかった」という感想が多かった。学生は、コンドームの実物とコンドームを装着する用具を持参し、コンドームの使い方を実際にやって見せた。このような実践教育は、高校の授業の中ではほとんど行わないことであろう。しかし、避妊という実際的な問題では、書物の中の知識よりも、その時どうすればいいのか、という実際的な行動が問題になる。その意味では知っていることと正しく使えることは、大きな差があるだろう。生徒も「はじめてみて、さわって、正しい使い方を知ることができた」と答えているように、彼らが必要とする性の知識は、実践的であることが重要であり、真面目な姿勢がうかがわれる。

また「年齢の近い人たちと楽しく学べた」という感想が多かった。まさにピアの活動の意図することである。「年齢の近い人たち」は生徒にとって性について話すとき、垣根が低く、聞きたいことを遠慮なく、話すことができる関係であり、ピア(仲間)として認識されているのであろう。先生や親からは、なかなか彼らが聞きたい、性についての話を聞くことは難しく、どうしても通り一遍の指導やしつけのたぐいになりやすい、しかし、ピアなら、自分たちの言葉で話し合え、恥ずかしさがなく、しかも真面目に話ができる。楽しく学び合えるということは、何より生徒や学生たちにとって大切なことではないだろうか。

学生も、初めての体験であったが、主体的に臨んだことなので、学ぶ内容について責任もすべて彼らにかかっていたこともあって、生徒の反応を受け止めながら、充実感と達成感があったように思われる。学生たちは、1回で完結するのではなく、さらに性に関することから、学校生活までいろんなこと話し合いたいと願っている。性の知識

を伝えることは、ピアカウンセリングの最初の段階で、学生たちはもっと質問を受け、語り合い、学びあいたいと願っている。

「ピアカウンセリング」の本来の意味は、相談者自身の自己解決を導いていく相談活動であり、その基本前提には「人間は機会があれば自分自身の問題を自己解決する能力をもっている」という考え方がある。学生たちは、高校生と接する中で、高校生の相談者として、彼らの思いを聞きたいという願いをもっている。そして高校生自身が、彼らの問題を自分で解決できるように手助けしたいと思っている。しかし、その実現には、学生も準備することは多く、ピアカウンセリングにあてる時間も今回の2~3倍は必要だし、回数も1回では不十分である。「ピアカウンセリング」実現のためには、もっと学校側や地域保健関係者などの準備を要するであろう。

今回は「ピアエデュケーション」が中心となる取り組みだった。現時点での高校の状況と地域性を考慮した場合、このような出張形式による、ピア活動が適当ではないかと考えられる。岐阜は公共交通の便がよくなく、場所を変えてピアの活動を計画しても、高校生は敢えて参加しようと思わないだろう。実際、本学を使って「ピアカウンセリング」の集会を計画し、5つの高校をまわってチラシなどをわたし、広報活動をしたが、結局参加者は0だったことがある。学生たちは、この原因を話し合い、今の岐阜の状況では、性の話を聞くために高校生が、交通機関を使ってわざわざ、看護大学まで訪れることはないだろう、ということになり、今後は出張で高校を訪問する方法をとることにした。

高校単位で「ピアカウンセリング/エデュケーション」を行うメリットは、高校生にとって参加しやすいことと、高校単独で行事を計画しやすいことである。高校生は誰か友達と一緒に参加したいと思っている。一人でもいいから参加しようと考えている生徒は少なく、今回の会でもすべて友人と共に参加している。保健室のような参加しやすい場所や雰囲気づくりも大切である。高校生の主体的な参加といっても、それまでに参加しやすい方略を考えておくことが不可欠となる。

まとめ

今回はじめて実施した「ピアカウンセリング/エデュケーション」の評価は概ね好評で、高校生の性教育には効果的な方法と思われるが、さらにピアの養成を始め、実践方法、学校側との連携な

ど多くの課題がある。今後も実践活動を重ね、高校生への教育成果を挙げていくと共に、より良い方法について検討を重ねていくことが重要である。

討論

・性教育について、学校現場はなかなか地域の専門職を入れるところが少ない。もっと地域で連携していくといいのでは。開業の助産師など学校で性教育をしたいと希望しているひとはたくさんいるはず。

・養護教諭の研究会などで、このようなことをアピールしていけばいいのではないか

・学生が中心なので学生のサポートが大切だし、この活動を支えていけるようにして欲しい

・県のレベルでは、このような性教育には取り組んでいないのか、できれば行政も巻き込んで展開できるといい

参加した感想（自由記載）

高校生

性に関する詳しい知識が学べ、性について考えることができた
すごく詳しく話が聞けてよかった あいまいだったことが、しっかり理解できた 学生さんたちは恥ずかしい言葉とかをはっきり言えてすごいな、と思いました。恥ずかしがるばかりではいけないと思いました 性について深く考えられた はじめて知ることがたくさんあった みんな結構いろんなことを知っていたのでびっくりした 学校で聞く話より、より詳しい話を聞くことができてよかった なかなか理解することができないこともあったけど、聞いて損はなかった エイズについても昔よりだいぶ知識が豊富になった 性と生がどれだけ大切か、とてもよくわかった 性については2年の時にちょっとやったけど、ここまでちゃんとやってもらっていなかったの、今日はへーって思った 知っていることもあったし、知らないこともあった 授業ではならわないことをたくさん聞かせてもらってよかった 今日はピルの話をたくさんしてもらった。自分のためにも必要なことだから来てよかった
実際の用具の使い方を体験して学べよくわかった
演じてやってくれたのでとても分かりやすかった コンドームのつけ方もはじめて知った 避妊具をはじめてみたのでびっくりしたけど、勉強になってよかった 授業とは違い、物を使って説明してくれたのですごくわかりやすかった 実物ができて分かりやすかったけど、どうやって使うかよく分からないところもあった 実際コンドームを使って体験できたことがよかった、はじめて見て、さわって、正しい使い方を知ることができた
年齢の近い人たちと楽しく学べた
またこのような機会があったら参加したい 人数はこのくらいでよかった メンバーは連れがいると話しやすくなる、全く違う学年がいても微妙に話しにくい 学生の人たちもいい人ばかりで話していて楽しかった 看護大学の人たちの話を真剣に聞け、参加してよかった あまり年齢の変わらない人たちと話ができて、よかったと思う

参加した感想（自由記載）

大学生

- * みんな受け入れてくださって、とても嬉しかったです。また機会があれば参加させて頂きたいです。知識だけでなくまずみんなで「話す」「考える」ことを大切にしたいです。
- * 高校生と話し合う機会がもてて大変良かったです。でももう少し回を重ねて、本気で話したいです。
- * もっと仲良くできるとよかったと思う。こういった内容の話をする機会は、あまりなかったと思うので、自分なりの考えが間違っていたりすることもあるので、またやらせていただくと嬉しいです。
- * やっぱ初めて会った私たちにいろいろと話をすることは、まだ無理なのかなと思いました。でも話ができ良かったです。またこのような機会が再び会えたらと思います。皆がこれをきっかけに愛について考えてくれたら、少しでも知識が身につけてくれたらよかった、と思っています。このような機会を与えていただきありがとうございました。またよろしくお願いします。
- * 高校生と話ができ良かったです。自分たちだけでやろうとしていても、考え方に偏りが出てくるので、直接話し合いができる場は必要だと思いました。またよろしくお願いします。
- * 時間が短かったので伝えきれないこともたくさんあったけど、いい雰囲気でしたと思います。初対面だったので少し緊張気味みたいで、あんまり質問も出なかったけど、まだ知りたいことがある人がいたら、どんどん聞いて欲しいと思いました。
- * もっと分かりやすくしたほうが良かったかな？と思いました。男の子にもいろいろ知ってもらいたいと思った。高校生といろいろ話しができ、うれしかったし、楽しかった、とても勉強になった。
- * すごく楽しかったです。私たちが少し勝手に進めてしまった部分もありましたが、高校生にも少しは興味もってもらえたのかなと思います。やはりコンドームスキルは初めてやることだと思うので、みんなとても興味深そうで、やって良かったです。絶対また呼んでください。すぐに飛んでいきます。